

島根大学研究見本市

研究テーマ名：造形表現・学習の研究

J. デューイの芸術教育論に関する研究

(英訳) Study of art learning in Elementary School.

Study of theory of Art Education by J. Dewey.

研究者紹介

川路 澄人 (教育学部・教授)

Sumito Kawaji (Professor, Faculty of Education)

概 要

造形表現活動を行うことを通して、「学習する」ということに興味を持っています。学校教育において、国語や算数ばかりが知的なものと認識され、図工や音楽は感覚的なものとして位置づけられています。しかし芸術的な造形表現活動は高度に知的な活動です。そこには多種多様な知識や思考が必要とされます。誰もが楽しく思考し、表現できる図工の授業を研究しています。

“Learn by Artistic doing” is very important in education. In Art class, children have to think and inquire something through draw or make something with fun.

I believe that such class will grow the intelligence for children.

特 色
研究成果
今後の展望

「絵やイラストを描いたり、ものを作ったり、何かをイメージしたり、美術作品を鑑賞したりするという活動は、何か才能やセンスのある人がするもの」、という先入観ではなく、誰もが楽しく、表現の仕方や、作品の見方を習得しながら、自分を知的に成長させていくことができるような教材を考えています。

<ビデオザウルス>：造形遊びの教材で、造形活動のエンターテインメント性と表現と鑑賞の一体化を目指した教材です。



<そっくりに描く>：絵で表す教材で、着色の方法をルール化して、2種類を学習します。技法を学び、次の学習へのステップとなる教材です。



キーワード

造形教育, 図画工作科教育

リンク

<http://www.edu.shimane-u.ac.jp/staff/staff44.html>